

詳しい内容と豊富な史資料 信頼の教科書

1 各時代・各分野をバランスよく記述、 充実した内容

- **本文を重視**し、「原始・古代」「中世」「近世」「近代・現代」の**各時代**、政治・外交・経済・文化などの**各分野**について、**網羅的にバランスよく**記述しました。
- 歴史的なできごとの**背景**や**因果関係**が理解しやすくなるように、**論理的な記述**を心掛けました。充実した内容で、思考力・判断力・表現力を働かせるための基礎知識を獲得できます。

2 探究活動に取り組みやすい大きな図版、 豊富な史資料

- 考察を深め、歴史を探究するための**史資料を数多く掲載**しました。また、教科書の判型を大きくし(**A5判→B5変型判**)、写真・図版を大きく・見やすく掲載しました。
- 歴史叙述の基礎となる**文字資料**のほか、当時の様子を推測するための**図版・写真**や、数値から時代背景を考察できる**統計資料**などを豊富に取り入れています。
- 「歴史資料と〇〇の展望」では、**多様な史資料**を取り上げ、生徒が**多角的に考察**できるよう、工夫しています。

3 時代の特色をつかむ多様な問いかけ

- 各章の冒頭では導入文と合わせて、その章の学習上の**視点となる問いかけ**を提示し、各章の章末では「**まとめ**」の**問い**を設けてその章の学習を振り返り、考察できるようにしています。
- 本文を読む際の**着眼点**となるように、また様々な角度から歴史を捉えられるように、随所に**問い(Q)**を設けました。また、史資料に関連した「**読みといてみよう**」では、解釈・説明・論述をうながす問いかけをしています。

関連教材

授業準備／テスト／評価に

教師用指導書「授業実践編」
→p.130

デジタル
教師用指導書「授業実践編」
付属データ集
→p.131

教師用指導書「研究編」
→p.131

授業／予習・復習に

準拠ノート
詳説日本史ノート B5判 定価1,100円(税込)
詳説日本史 授業用整理ノート B5判 定価 946円(税込)

補助教材
山川 詳説日本史図録 第10版 AB判 定価 990円(税込)
詳説日本史10分間テスト A5判 定価 770円(税込)
詳説日本史スタンダードテスト B5判 定価 825円(税込)
書きこみ教科書 詳説日本史 A5判 定価1,100円(税込)
日本史総合テスト B5判 定価1,100円(税込)

デジタル
指導者用デジタル教科書(教材) →p.134

詳説日本史

日探705 B5変型判(230mm×174mm) 398ページ 予価914円

【編者】

佐藤 信 東京大学名誉教授 高埜 利彦 学習院大学名誉教授
五味 文彦 東京大学名誉教授 鈴木 淳 東京大学教授

【著作者】

老川 慶喜 立教大学名誉教授 村 和明 東京大学准教授
大津 透 東京大学教授 山口 輝臣 東京大学教授
早乙女雅博 東京大学名誉教授 湯川 文彦 お茶の水女子大学准教授
坂上 康俊 九州大学名誉教授 吉田 伸之 東京大学名誉教授
桜井 英治 東京大学教授 渡邊 宏明 海城中学高等学校教諭
設楽 博己 東京大学名誉教授 會田 康範 学習院高等科教諭
高橋 典幸 東京大学教授 太田尾智之 東京都立国立高等学校教諭
沼尻 晃伸 立教大学教授 中家 健 東京都立小石川中等教育学校教諭
牧原 成征 東京大学教授 野崎 雅秀 東京大学教育学部附属中等教育学校教諭
三枝 暁子 東京大学教授
三谷 芳幸 筑波大学教授 株式会社 山川出版社

(2025年3月現在)



- 図版(写真) 363点
- 地図 46点
- グラフ・図表 147点
- 文字資料 87点
- 2次元コード 23点

message



高埜利彦

(たかのとしひこ)

学習院大学名誉教授

「日進月歩」とまでは申しませんが、歴史学や考古学などの研究者の日々の取組によって、日本の歴史像は描き直されてきました。132年の伝統のある学会誌『史学雑誌』の回顧と展望に見るように、膨大な数の研究論文が毎年発表されています。この不断の学問の営みの中から、新しい歴史像が学会の共有財産として認識され、やがて定着するようになると、それが教科書に反映されて、今回のような大きな改訂の機会に、書き直されることになります。

日本の歴史像は、多数の出版社によって書籍などのかたちで社会に伝えられていきます。歴史学は社会と結びつきやすい特色をもっていますが、それは中学・高校生の時に日本史を広く学んだ人たちが、その後も関心を持続していくからだと思います。

高校の教室で生徒たちに日本史の授業を担当する先生方の役割は、歴史学に裏付けられた共通の日本史像を、教科書を通して次の世代に認識してもらうところにあります。教科書の改訂は、現場の先生方に負担を掛けることになります。かつて、教育現場に週1日の研修日があり、教材研究などに余裕の時間をもてた頃とは異なり、現在の厳しい環境の中で教材研究に時間を割くことは容易ではないと思いますが、是非、新しくなった『詳説日本史』を活用していただければと考えます。

歴史学という基礎の学問から始まり、次世代の歴史認識を形成する高校の現場まで、一貫した流れの最後をしめくくる、高校の先生方に大いなる期待をしています。



鈴木淳

(すずきじゅん)

東京大学教授

新型コロナウイルス感染症の流行にともなう予期せぬ社会の変動によって、人々の暮らしが大きく左右されました。そしてそれへの対応は、国や自治体に頼るだけではなく、自らの責任で考えなくてはならないことが痛感されました。産業の国際競争力も一時の勢いを失い、実業界でも若手に対して、指示を待つだけではなく自ら考える力を強く期待する時代を迎えています。

そのような中で、新たに登場した「日本史探究」という科目では、歴史について、調べ、まとめ、考察し、さらによりよい社会の実現を視野に課題を探究することなどの主体的な活動を通じて、自分で根拠を確認した情報に基づいて自ら考える力を養うことが求められています。それは、考える力を養うとともに、先人たちが犠牲をはらいながら積み重ねてきた貴重な経験を現代の社会に生かす学習であり、それを通じて、改めて歴史を学ぶ意味の大きさを理解することも期待されます。

この教科書は『詳説日本史』の長年の蓄積を生かしながら、「日本史探究」の目標を達成しようとするものです。各時代の特質を理解するのにふさわしい厳選した史資料を取り上げた「歴史資料と〇〇の展望」、あるいは、本文横や章末の数多くの問いにより、様々なかたちで探究の入り口や手がかりを示すとともに、本文は問題意識をもった学習に対応できる丁寧な叙述となっています。この教科書で、知識を身に付けるだけではなく、歴史に学んで考える力を身に付けてもらいたいと思います。

目次と配当時間例

目次

各時代(部)が学習指導要領の大項目A～Dに当たります。
各部は学習指導要領の中項目(1)～(3)で構成されています。

A Ⅰ部 原始・古代

(1)	第1章 日本文化のあけぼの		
	1 文化の始まり	6	4
	2 農耕社会の成立	13	
(2)	● 歴史資料と原始・古代の展望		
	①古代社会と海外との交流	20	2
	②木簡から古代国家を探る	22	
	第2章 古墳とヤマト政権		
	1 古墳文化の展開	24	4
	2 飛鳥の朝廷	33	
(3)	第3章 律令国家の形成		
	1 律令国家への道	37	6
	2 平城京の時代	41	
	3 律令国家の文化	49	
	4 律令国家の変容	55	
	第4章 貴族政治の展開		
	1 摂関政治	62	4
	2 国風文化	65	
	3 地方政治の展開と武士	69	

配当時間例
(月/時数)

B Ⅱ部 中世

第5章 院政と武士の躍進		
1 院政の始まり	76	3
2 院政と平氏政権	79	
● 歴史資料と中世の展望		
絵画から中世社会を探る	86	2
第6章 武家政権の成立		
1 鎌倉幕府の成立	90	6
2 武士の社会	94	
3 モンゴル襲来と幕府の衰退	99	
4 鎌倉文化	104	
第7章 武家社会の成長		
1 室町幕府の成立	110	8
2 幕府の衰退と庶民の台頭	119	
3 室町文化	125	
4 戦国大名の登場	132	

干支、時刻と方位、度量衡
のページを設けました。

【凡例】

- 年代は西暦を主とし、日本の年号は（ ）の中に入れた。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、年月はすべて日本暦をもとにし、西暦に換算しなかった。たとえば天正14年12月1日は、西暦では1587年1月9日であるが、1586(天正14)年12月とした。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。たとえば慶応4年は9月8日に改元して明治元年となったが、この年のことはすべて1868(明治元)年とした。
- 史料引用はできるだけ必要な部分にとどめたが、その際も前略・後略は特別には記さなかった。また、読みやすく書き改めたところもある。法令などの史料には、適宜、第何条にあたるかを示す数字をつけた。
- 国名は、次のように表記する場合がある。〔日本：日 中国：中 韓国：韓 アメリカ：米 ロシア：露 イギリス：英 フランス：仏 ドイツ：独 オーストリア：奥 イタリア：伊 オランダ：蘭 ソヴィエト社会主義共和国連邦：ソ〕

詳しくみてみよう! (2次元コード)

画像	一遍上人絵伝(巻7) 87/洛中洛外図屏風 89/伯耆国東郷荘の地下中分図 98/南蛮屏風 149
文字資料	武家諸法度(元和令) 155/武家諸法度(寛永令) 157/武家諸法度(天和令) 177/大日本帝国憲法 252/二十一条の要求 269/日本国憲法 330/サンフランシスコ平和条約 337/日米相互協力及び安全保障条約 342
動画	貝塚 10/荘園図 72/鎌倉街道と切通 91/鉄砲伝来 139/富岡製糸場 240/米騒動 271/関東大震災 276/八幡製鉄所 284/戦時下の生活 314/安保闘争 342/石油危機 354 (動画はすべてNHK for Schoolのコンテンツです。)

※本書掲載の2次元コードからインターネットを使用した学習ができます。2次元コードの使用にあたって使用料はかかりませんが、通信料がかかります。インターネットを使用する際には、先生の許可を得たうえで使用してください。また、使用にあたっては個人情報の扱いに十分注意してください。

2次元コードから、より深い理解に役立つ動画や、細部を確認するための拡大画像、紙面掲載部分以外の文字資料などを見られるようにしています。

各時代・各分野を
バランスよく
構成しています。

学習指導要領の中項目(4)は大項目Dの最後に入ります。

D Ⅳ部 近代・現代

第11章 近世から近代へ		
1 開国と幕末の動乱	220	3
2 幕府の滅亡と新政府の発足	227	
● 歴史資料と近代・現代の展望		
①五箇条の誓文と国是	232	2
②貿易の変遷からみる日本の近代・現代	234	
第12章 近代国家の成立		
1 明治維新と富国強兵	236	5
2 立憲国家の成立	247	
第13章 近代国家の展開		
1 日清・日露戦争と国際関係	256	6
2 第一次世界大戦と日本	266	
3 ワシントン体制	272	
第14章 近代の産業と生活		
1 近代産業の発展	279	6
2 近代文化の発達	288	
3 市民生活の変容と大衆文化	294	
第15章 恐慌と第二次世界大戦		
1 恐慌の時代	300	7
2 軍部の台頭	305	
3 第二次世界大戦	311	
第16章 占領下の日本		
1 占領と改革	325	4
2 冷戦の開始と講和	333	
第17章 高度成長の時代		
1 55年体制	339	4
2 経済復興から高度経済成長へ	344	
第18章 激動する世界と日本		
1 経済大国への道	353	3
2 冷戦の終結と日本社会の変容	359	
(4) ● 現代日本の課題の探究		
様々な災害と日本	365	2

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

3. ○○の国家・社会の展開と画期

＊大項目Dの中項目(3)は「近現代の地域・日本と世界の画期と構造」

歴史資料と○○の展望のあとの学習では、「時代を通観する問い」や仮説をふまえ、資料を活用して、各時代の展開について考察し、**諸事象の解釈や画期を表現**します。また、その際に、**解釈・説明・論述**を繰り返しおこない、**思考力・判断力・表現力**を育成することが求められています。

学習指導要領 中項目(3)

2 次元コード

より深い理解に役立つ動画や、細部を確認するための拡大画像、紙面掲載部分以外の文字資料などを見られるようにしています。



遷移画面



改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

第6章

武家政権の成立

12世紀末の内乱の中から、最初の本格的な武家政権である鎌倉幕府が誕生した。鎌倉幕府は承久の乱やモンゴル襲来を経て全国政権に成長するとともに、幕府に集った武士たちも守護や地頭として全国に展開していった。武士の勢力拡大は、鎌倉時代の政治や社会にどのような影響をもたらしたのだろうか。

5

1 鎌倉幕府の成立

源平の争乱

平氏一門の繁栄は、後白河法皇や院近臣との対立を招き、1177(治承元)年には藤原成親や僧の後寛らを、京都郊外の鹿ヶ谷で平氏打倒をはかり、失敗する事件がおこった(鹿ヶ谷の陰謀)。

そこで平清盛は1179(治承3)年、武力を背景に後白河法皇を鳥羽殿に幽閉し、関白以下多数の貴族を処罰し、官職を奪う強圧的手段で国家機構のほとんどを手中におさめた。さらに翌年には高倉天皇の中宮である娘徳子(建礼門院)の生んだ子を安徳天皇として即位させ、外戚の地位も手に入れた。

ここに清盛の権力集中は頂点に達するかにみえたが、かえて中央の貴族・大寺院や地方の武士団のあいだで平氏の専制政治に対する不満が高まった。

この情勢をみた後白河法皇の皇子以仁王と、畿内に基盤をもつ源氏の源頼政は、平氏打倒の兵をあげ、挙兵を呼びかける以仁王の命令(令旨)が諸国の武士に伝えられた。

これに応じて、園城寺(三井寺)や興福寺などの僧兵が立ち上がり、つづいて伊豆に流されていた源頼朝や信濃の本曾谷にいた源義仲をはじめ、各地の武士団が挙兵して、ついに内乱は全国的に広がり、5年にわたって争乱が続いた(治承・寿永の乱)。

平氏は当初、都を福原(神戸市)に移した。福原は近

源平の争乱(月は陰暦による。＊印は幕府設立関係)		
1177. 5	鹿ヶ谷の陰謀	
1179. 11	平清盛、後白河法皇を幽閉	
1180. 2	安徳天皇即位	
5	以仁王・源頼政ら挙兵、敗死	
6	福原遷都(11月には京都に戻す)	
8	源頼朝挙兵、石橋山で敗れる	
9	源義仲挙兵	
10	＊頼朝鎌倉入り。富士川の戦い	
11	＊頼朝、侍所を設置	
12	平重衡、南都を焼打ち	
1181. 閏2	清盛の死(64歳)	
4～	義和の飢饉	
1183. 5	倶利伽羅峠(砺波山)の戦い	
7	平氏の都落ち、義仲入京	
10	＊後白河法皇、頼朝の東国支配権を認める	
1184. 1	源頼朝・義経、義仲を討つ	
2	摂津一の谷の戦い	
10	＊頼朝、公文所・問注所を設置	
1185. 2	讃岐屋島の戦い	
3	長門壇の浦の戦い、平氏滅亡	
11	＊頼朝、守護・地頭を設置	
1189. 9	頼朝、奥州平定	
1192. 7	＊頼朝、征夷大将軍となる	

本文の流れを重視し、背景や因果関係が理解しやすい記述を心掛けました。

くに良港大輪田泊があり、瀬戸内海支配のための平氏の拠点であったが、この遷都には大寺院や貴族たちが反対したため、平氏は約半年間で都を京都に戻し、畿内を中心とする支配を固めてこれらの動きに対応した。しかし、清盛の突然の死や、畿内・西国を中心とする飢饉などで平氏の基盤は弱体化し、1183(寿永2)年に北陸で源義仲に敗北すると、平氏は安徳天皇を奉じて西国に都落ちした。その後、都に入った義仲と対立した後白河法皇の要請を受け、源頼朝は弟の源範頼・義経らの軍を上洛させて義仲を滅ぼし、さらに平氏と戦い、摂津の一の谷、讃岐の屋島の戦いを経て、ついに1185(文治元)年に長門の壇の浦で平氏を滅亡させた。

この一連の争乱で大きな活躍をしたのは、地方の武士団であった。彼らは国司や荘園領主に対抗して所領の支配権を強化・拡大しようとつとめ、そのための新たな政治体制を求めていた。

鎌倉幕府

反平氏の諸勢力のうち、東国の武士団の大半が武家の棟梁源氏の嫡流である頼朝のもとに結集したため、頼朝はもっとも有力な勢力に成長した。頼朝は挙兵すると、相模の鎌倉を根拠地として広く武士たちと主従関係を結び御家人として組織し、東国の荘園・公領を支配して彼らの所領支配を保障していった。1183(寿永2)年には、平氏の都落ちのあと、京都の後白河法皇と交渉して、東海・東山両道の東国^①の支配権の承認を得た(寿永二年十月宣旨)。

1185(文治元)年、平氏の滅亡後、頼朝は義経と対立するようになった。義経が法皇から頼朝追討令を与えられて挙兵するも失敗すると、頼朝は軍勢を京都に送って法皇にせまり、義経追討を名目として諸国に守護^②を、荘園や公領には地頭を任命する権利や1段当たり5升の兵根米を徴収する権利、さらに諸国の国衛の実権を握る在庁官人を支配する権利を獲得した。こうして東国を中心にした頼朝の支配権は西国にもおよびはじめ、武家政権としての鎌倉幕府が確立した。



鎌倉周辺図 鎌倉は源頼義以来、源氏とのゆかりが深い地で、三方を小さな丘陵に囲まれ、南は海にのぞむ要害の地であった。



Q 鎌倉幕府はどのような過程を経て成立したのだろうか。

① 幕府の支配権が強力におよぶ東国の範囲は、やがて遠江・信濃以東の15カ国とされた。

② 守護は当初、惣追捕使や国地頭などと呼ばれたが、のちに守護に統一された。

Q 下司などの荘官と地頭の、共通点と相違点は何だろうか。

本文を読む際の着眼点となるような問(Q)を設け、考察をうながしています(解答例は、教師用指導書、整理ノートで扱っています)。

3. ○○の国家・社会の展開と画期

読みといてみよう

史資料をもとに、**解釈**したり、**説明**したり、**論述**したりする学習をうながします(解答例は、教師用指導書、整理ノートで扱っています)。

読みといてみよう

なぜこのような市が開かれたのだろうか。扱われている商品や備前国福岡という立地に着目して説明してみよう。



備前国福岡の市
1278(弘安元)年、備前の福岡の市で布教する一遍(左端の僧)が、刀をもった男に襲われている図。市日には、道路を挟んで建てられた仮小屋に、所狭しと品物が並べられ、活発に商品の販売がおこなわれていたことがわかる。
(二編) 備前国、部分、備前、光寺、神奈川(原)

教科書の判型を大きくし(A5判→B5変型判)、写真・図版を大きく・見やすく掲載しました。



5 堺を表し、町を画する堀がつくられている。図は住吉祭の仮装

これらの都市の中には、富裕な商工業者たちが自治政を運営し、平和で自由な都市をつくり上げるもの、易の根拠地として栄えた堺や博多、さらに摂津のや大湊などが代表的であり、とくに堺は36人の会、の年行司と呼ばれる豪商の合議によって市政が市の性格を備えていた。

うな古くから続く政治都市にも、富裕な商工業者で

ある町衆を中心とした都市民の自治的団体である町が生まれた。惣村と同じように、町はそれぞれ独自の町法を定め、住民の生活や営業活動を守った。さらに、町が集まって町組という組織がつくれ、町や町組は町衆の中から選ばれた月行事の手によって自治的に運営された。応仁の乱で焼かれた京都は、これらの町衆によって復興され、祇園祭も町を母体とした町衆たちの祭りとして再興された。

●惣村と町をあわせて村町共同体、またそれらを基礎とする支配の仕組みを村町制と呼ぶこともある。

●京都ではさらに複数の町組が集まって、三十三間堂、三十三間堂という巨大な都市組織(惣町)を形成していた。

第7章のまとめ

- 問1 室町時代の惣村や町の自治のあり方と現代の自治のあり方には、どのような類似点と相違点があると考えられるだろうか。
- 問2 15～16世紀にかけて多発した争乱は、人々の生活や文化にどのような影響を与えたと考えられるだろうか。

章末に、時系列や推移、諸事象の比較、意味や意義、特色、因果関係や画期などについて、**まとめの問い**を設けました。

4. 現代の日本の課題の探究

学習指導要領 中項目(4)

日本史探究の科目のまとめとして、**主題を設定**して、現代の日本の**課題を探究**します。

現代日本の課題の探究——様々な災害と日本

これまで学んできた日本の歴史の中から、「社会や集団と個人」「世界の中の日本」「伝統や文化の継承と創造」など、現代日本に関わる様々な課題を設定することができる。自分が関心のある課題をみつけて取り組んでみよう。ここでは例として、災害をテーマに考えてみたい。

1 社会や集団と個人 「災害対応」についての考察

(1) 問い・仮説を立ててみよう
日本列島で生きてきた人々にとって、暴風・豪雨・洪水・地震・津波・噴火などの災害は、きわめて身近なものだった。人々は、みずからの生活をおびやかす災害にどのように向き合ってきたのだろうか。

1707(宝永4)年、富士山が噴火した(宝永の富士山噴火)。被災地域の大部分は小田原藩の領地で、藩は緊急の救済(被災者救済のための米)を支給するのが精一杯であり、抜本的な対策を幕府にゆだねざるをえなかった。

1708(宝永5)年、幕府は武蔵・相模・駿河3カ国のうち、被災の著しい村々について幕領に編入することを決定した。つづいて、幕府は資料1の触れを出した。

これによれば、全国の幕領と大名・旗本領から石高100石につき金2両を徴収し、1万石以上(大名)は立て替え金を3月までにおさめ、1万石未満(旗本)は6月までにおさめることとした。また50石未満の場合は免除し、寺社領は除外している。この触れにより、幕府は救済資金として全国から約49万両を徴収したが、このような大名領まで対象とした租税形態は従来にはみられなかったものである。

宝永の富士山噴火がおこった時期は5代将軍徳川綱吉の時代で、幕藩体制の安定期に当たる。幕府が諸大名に対する強大な権力を発動できた

点にこの時期の社会の特色があり、小田原藩領



富士山宝永噴火絵図 (静岡県立中央図書館歴史文化情報センター蔵)

資料1: 宝永の富士山噴火
資料2: 宝永の富士山噴火
資料3: 宝永の富士山噴火
資料4: 宝永の富士山噴火
資料5: 宝永の富士山噴火
資料6: 宝永の富士山噴火
資料7: 宝永の富士山噴火
資料8: 宝永の富士山噴火
資料9: 宝永の富士山噴火
資料10: 宝永の富士山噴火
資料11: 宝永の富士山噴火
資料12: 宝永の富士山噴火
資料13: 宝永の富士山噴火
資料14: 宝永の富士山噴火
資料15: 宝永の富士山噴火
資料16: 宝永の富士山噴火
資料17: 宝永の富士山噴火
資料18: 宝永の富士山噴火
資料19: 宝永の富士山噴火
資料20: 宝永の富士山噴火

(2) 仮説を検証するために、文化財に関する法律や施策の背景を調べてみよう

①文化財を守るための法整備

文化財を保護するための近代的な法整備は、いつから始まったのだろうか。資料9は文化財保護に関する法律の変遷をまとめたものである。

年	文化財保護に関する動き
1871年	古物保存法の公布
1897年	古社寺保存法の公布
1919年	史蹟名勝天然記念物保存法の制定
1929年	国宝保存法の制定
1933年	重要美術品等ノ保存ニ関スル法律の制定
1950年	文化財保護法の制定

資料9:文化財保護に関する法律の変遷

▶それぞれの時期に文化財保護の動きが強まった背景には何があったと考えられるだろうか。また、それぞれの法律の具体的な内容についても調べてみよう。

1950(昭和25)年に制定された文化財保護法は、その後、何度も改正がおこなわれてきた。資料10は、それぞれの改正の内容を簡潔にまとめたものである。

改正年	内容
1954年	無形文化財・埋蔵文化財・民俗資料に関する保護制度の充実
1968年	文化庁の発足
1975年	伝統的建造物群保存地区制度の創設、文化財の保存技術の保護制度の創設
1996年	文化財登録制度の創設
1999年	都道府県・指定都市等への権限委譲等
2004年	文化的景観の保護制度の創設
2018年	文化財保存・活用のための計画制度の創設

資料10:文化財保護法の改正

▶資料をみて気づいたことや、考えたことを表現してみよう。また、2018(平成30)年の改正における文化財の「活用」とは具体的にどういうことか、身近な事例を調べてみよう。

②文化財レスキュー事業

文化庁は、自然災害により被災した美術工芸品を中心とする文化財等を保全し、廃棄・散逸や盗難の被害から防ぐため、災害の規模・内容に応じて「文化財レスキュー事業」(正式名称は被災文化財等救援事業)を展開している。1995(平成7)年の阪神・淡路大震災の時にはじめて組織され、2011(平成23)年の東日本大震災においても展開された。

資料11は、東日本大震災におけるレスキュー事業に携わった「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」のメンバーの声である。

▶この資料を読み、文化財を保護していくために何が必要か、考えてみよう。また、ここで述べられていること以外で、文化財を保護・継承していくための課題として何があげられるか、考えてみよう。

資料11:「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」のメンバーの声

…現在の福島県内で歴史資料あるいは文化遺産がいったいどういう状況にあるのか、情報がなかなか集まっていなくて、出てこないというあたりも、震災の頃からほとんど進捗していない気がするんですね。だからこそ、いろいろな情報を持ち寄ったり、歴史や文化に関心を持つ人たちが集まったりする「つながりの場」というのが、あらためて必要だと感じているわけです。…
(阿部浩一・福島大学つくしまふくしま未来支援センター編「ふくしま再生と歴史・文化遺産」より)

IV 学習の成果を共有しよう

探究した内容について、レポートにまとめたり、新聞を作成したりするなどして、発表してみよう。また、自分とは異なる表現・発信方法でほかの課題に取り組んでいる人たちと意見交換や討論をおこなって、歴史認識を深めていこう。

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材



- 図版(写真) 519点
- 地図 63点
- グラフ・図表 144点
- (グラフ39+系図14+図63+表28)
- 文字資料 74点
- 2次元コード 69点

高校日本史

日探706 B5判(257mm×182mm) 302ページ 予価914円

【編者】

佐藤 信 東京大学名誉教授 高埜 利彦 学習院大学名誉教授
五味 文彦 東京大学名誉教授 鈴木 淳 東京大学教授

【著作者】

老川 慶喜 立教大学名誉教授 村 和明 東京大学准教授
大津 透 東京大学教授 山口 輝臣 東京大学教授
早乙女雅博 東京大学名誉教授 湯川 文彦 お茶の水女子大学准教授
坂上 康俊 九州大学名誉教授 吉田 伸之 東京大学名誉教授
桜井 英治 東京大学教授 渡邊 宏明 海城中学高等学校教諭
設楽 博己 東京大学名誉教授 會田 康範 学習院高等科教諭
高橋 典幸 東京大学教授 大熊 俊之 埼玉県立春日部高等学校教諭
沼尻 晃伸 立教大学教授 多田万里子 埼玉県立羽生第一高等学校教諭
牧原 成征 東京大学教授 豊田 基裕 東京都立文京高等学校教諭
三枝 暁子 東京大学教授 株式会社 山川出版社
三谷 芳幸 筑波大学教授 (2025年3月現在)

message



五味文彦

(ごみふみひこ)
東京大学名誉教授

ここ数年、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、変異種が次々に現れたことで、多くの人々はこれからの社会がどうなってゆくのか、不安をおぼえたことでしょう。目を向けると、社会のいろいろな動きが見えてきています。地域社会の衰退や格差社会の進行、身近な家庭・学校、社会のあり方などです。これらに立ち向かうためには、過去の歴史から学ぶことが、たいへん重要です。

先人が苦難を乗り越え、築いてきた歴史を知ることは、これから生きてゆく上で大きな力になるはずです。社会のあらゆる分野で活動してきた先人の努力を、しっかり見つめ、考えて、生きてゆく力を育てましょう。

この教科書では、基本となる事実を示し、その事実の背景となる時代の動きを記すようにつとめました。わかりやすい文章で、正確に事実を伝える努力をしてきました。これまでの実績に基づきつつも、それを生かして、よりよい教科書をめざし編集しました。きっと皆さまの期待にこたえるでしょう。



佐藤信

(さとうまこと)
東京大学名誉教授

今日、災害・疫病や高齢化・過疎化などの厳しい現実が課題となるなかで、持続可能で平和かつ多様な社会をめざすことが求められています。見通しのきかない状況下で、世界・日本や私たちが住む地域社会のあり方を展望する際に、先人が築いてきた歴史・文化・伝統を見すえる「知」から学ぶことが多くあるといえます。

この教科書では、多様な歴史資料にもとづきながら、歴史の文脈をたどるとともに歴史的思考を深められるようにつとめました。

どうぞ、どの時代からでも歴史に対して疑問をもち、自ら歴史資料を確かめ、調べ、考えて、歴史をたずねてみてください。

この「日本史探究」で学んだことが、これから皆さんが生きていく上で、多様で豊かな経験にあふれた世界・日本や地域の歴史・文化をふり返り、あたらしい社会の創成をめざす際の一助となれば、うれしく思います。

豊富な材料で 楽しく学べる 生徒が読んでわかる教科書

1 要点をおさえた、わかりやすい教科書

- 『詳説日本史』の章立てに準拠し、**内容と構成を簡潔に**工夫しました。
- 生徒が自ら読んで理解できるよう、歴史の基本的な流れを、**わかりやすい文章**で叙述しました。また、ふりがなを丁寧にふり、注も少なくし、本文の読みやすさを第一に考えました。

2 興味・関心を高める工夫と、豊富な史資料

- **史料の現代語訳**や拡大画像などを参照できる69点の「2次元コード」。
- 史資料をもとに解釈・説明・論述するための発展的な「読みとき」。
- 生徒の**興味をひきだす**エピソードを紹介する75点の「Topic」。
- 文化財や列島の多様性など、様々な観点を提供する8点の「特集ページ」。
- 視覚的なイメージを持てる**約720点の図版**を掲載。
- 教科書の判型を大きく (**A5判→B5判**) し、図版を大きくレイアウト。

関連教材

教師用指導書「授業実践編」

→p.130

デジタル

教師用指導書「授業実践編」付属データ集

→p.131

教師用指導書「研究編」

→p.131

準拠ノート

高校日本史ノート B5判 定価825円(税込)

補助教材

山川 詳説日本史図録 第10版 AB判 定価990円(税込)
高校日本史 基本用語問題集
ツインズ・マスター B5判 定価990円(税込)

デジタル

指導者用デジタル教科書(教材) →p.135

目次と配当時間例

『高校日本史』は『詳説日本史』の章立てに準拠しています。

配当時間例(月)／時数		各部の最初の章は、時代の転換を意識した構成にしました。→p.96-97		歴史資料と各時代の展望では、多様な史資料を活用し、生徒自身が歴史を考察する力を養えるようにしました。→p.100		独自の歴史をもつ地域や、文化財保護への関心を高める、特集ページ(8テーマ)を設けました。→p.101	
目次							
第Ⅰ部 原始・古代		第Ⅱ部 中世		第Ⅲ部 近世		第Ⅳ部 近代・現代	
第1章 日本文化のあけぼの		第5章 院政と武士の進出		第8章 近世の幕開け		第11章 近世から近代へ	
1 日本文化の始まり 6		1 院政の始まり 60		1 天下人の登場 108		1 開国とその影響 164	
2 農耕の開始 11		2 院政と平氏政権 63		2 豊臣政権と桃山文化 112		2 幕府の滅亡と新政府の発足 169	
歴史資料と原始・古代の展望		歴史資料と中世の展望		歴史資料と近世の展望		歴史資料と近代・現代の展望	
①古代社会と海外との交流 16		絵画から中世社会をさぐる 68		朝鮮通信使 117		①議会と選挙権 174	
②木簡から古代国家をさぐる 18						②生糸の生産 176	
第2章 古墳とヤマト政権		第6章 武家政権の成立		第9章 幕藩体制の成立と展開		第12章 近代国家の成立	
1 古墳文化の展開 20		1 鎌倉幕府の成立と展開 72		1 江戸幕府の成立 122		1 明治維新 178	
2 飛鳥の朝廷 25		2 モンゴル襲来と幕府の衰退 78		2 江戸初期の外交と文化 128		2 立憲国家の成立 186	
第3章 律令国家の形成		第7章 武家社会の成長		第10章 幕藩体制の動揺		第13章 近代国家の展開と国際関係	
1 律令国家への道 29		1 室町幕府の成立 86		1 幕政の改革と宝暦・天明期の文化 147		1 大陸政策の展開 192	
2 平城京の時代 34		2 下剋上の社会 93		2 江戸幕府の衰退 153		2 第一次世界大戦と日本 201	
3 律令国家の文化 38		3 室町文化 98		3 化政文化 159		3 ワシントン体制 206	
4 律令国家の変容 42		4 戦国の動乱 103				第14章 近代の産業と生活	
第4章 貴族政治の展開						1 近代産業の発展 212	
1 摂関政治 48						2 近代の文化 218	
2 国風文化 52						3 市民生活の変容と大衆文化 223	
3 荘園の発達と武士団の成長 55							
凡例						現代日本の課題の探究 地域社会や身のまわりから考えよう 274	
1. 年代は西暦を主とし、日本の年号は()の中に入れた。明治5年までは日本暦と西暦とは1ヵ月前後の違いがあるが、年月はすべて日本暦をもとにし、西暦に換算しなかった。たとえば天正14年12月1日は、西暦では1587年1月9日であるが、1586(天正14)年12月とした。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。たとえば慶応4年は9月8日に改元して明治元年となったが、この年のことはすべて1868(明治元年)年とした。						日本史年表 280	
2. 史料引用はできるだけ必要な部分にとどめ、その際も前略・後略は特別には記さなかった。また、読みやすく書き改めたところもある。漢文・和綴漢文・和漢混濁文は、原則として読み下した。法令などの史料には、適宜、第何条にあたるかを示す数字をつけた。						索引 287	
3. 国名は、次のように表記する場合がある。[日本：日 中国：中 韓国：韓 アメリカ：米 ロシア：露 イギリス：英 フランス：仏 ドイツ：独 オーストリア：奥 イタリア：伊 オランダ：蘭 ソヴェット社会主義共和国連邦：ソ]						古代の行政区画 表見返し	
						干支、時刻と方位、度量衡 表見返し裏	
						政党・政派の変遷 裏見返し	

1. 要点をおさえた、わかりやすい教科書

歴史の流れを理解しやすくするため、**わかりやすい文章**を心がけ、ふりがなも丁寧にふりました。
また、日本史探究で重視される、**時代の転換**を意識した記述をしています。

各章の導入には、「**章全体にわたる問い**」を設け、時代の転換を探究するための方向性を示しました。

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

第8章 近世の幕開け

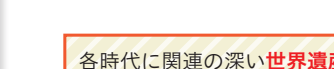
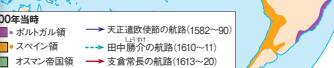
世界やアジアの交易が活発になるなか、16世紀末には日本全国を統一しようとする天下人が出現した。政治や社会のあり方も変わり、近世という新しい時代が始まったとされている。新しい時代はどのように幕を開けたのだろうか。

1 天下人の登場

近世への転換 16世紀なかば、ヨーロッパ人は海上航路を開いて拠点をつくり、アジアの交易ルートに参入して、日本に鉄砲やキリスト教を伝え、増産された日本の銀を求めた。国際的な交易が活発となり、外来の技術・思想にどう対応するかが、戦国大名らに問われる時代となった。以後、有力な大名が領国の統合を急速に進め、16世紀末には豊臣秀吉が全国を1つの政権のもとに統合した。秀吉は新しい支配の仕組みを築き上げると同時に、中国への侵攻を掲げて朝鮮侵略を強行し、明を中心とする東アジアの国際秩序を大きくゆがらすことになる。

銀の交易と鉄砲伝来 1530年代以降、石見銀山などで銀が大幅に増産された。中国の明は銀で税をおさめさせるようになっていたので、日本産の銀が大量に中国に流れこんだ。そのかわりに中国産の生糸などが日本にもたらされて、貿易が活発になった。ただし明は民間の貿易を認めていなかったので、取締りに対抗して武装した密貿易商人が活躍した。

16世紀の世界と日本人の往来 オスマン帝国領の広がりから、ヨーロッパ諸国は西へ目をむけた。天正遣欧使節(1582)は嘉望峰をまわり、支倉常長はメキシコから大西洋を横断して、ヨーロッパをめざした。



各時代に関連の深い**世界遺産**の写真を取り上げ、解説を付しました。

一方、ヨーロッパの南西の端にあるポルトガルは、15世紀になるとアフリカへの探検をすすめ、東南アジアの香辛料を求めて、15世紀末にはインドへの航路を開いた。スペインもアメリカ大陸から太平洋を横断してフィリピンへ進出した。ローマ教皇がひきいるカトリック教会も海外への布教をあつめた。こうして、ヨーロッパを中心に世界の諸地域が広く交流する**大航海時代**が始まった。

ポルトガルはインドや東南アジアに拠点を築き、1540年代になると九州各地にたどりつくようになった。そして1543(天文12)年、中国商人の船に乗ったポルトガル人が九州南方の種子島に來航し、鉄砲をもたらし、鉄砲は堺などで製造が始まり、戦国大名のあいだに急速に広まった。



種子島銃(長さ99.8cm。鹿児島県、種子島特設館蔵)

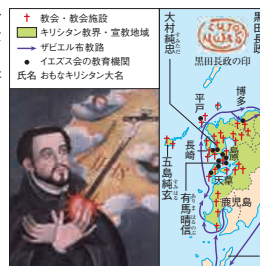
Topic 鉄砲の伝来と普及
鉄砲の伝来や生産、普及については不明な点が多い。当初、贈答品や外交の道具として使われた鉄砲だが、新兵器として認められるやいなや、戦国大名はその確保にとめた。刀鍛冶の高い技術が生かされ、伝来から半世紀のうちに全国に普及し、戦闘や築城の方法にも影響をおよぼした。ただし、当時の鉄砲は射程距離も短く、効果を過大に評価することは早計である。

キリスト教と南蛮貿易 1549(天文18)年、カトリック教会の改革派であるイエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが、インドや東南アジアをへて、中国人商人の船島に來航し、キリスト教を伝えた。ザビエルのあとも宣教師日して、多くの信者(キリシタン)を獲得した。とくに九州のなかには貿易の利益を得るためにもキリスト教に入信するキリシタン大名があらわれ、家臣や領民にもキリスト教が広まった。

中国南部のマカオに進出していたポルトガル商人も中国の貿易に乗り出し、やがて長崎へ來港し、中国産生糸と日本との売買を始めた。当時、彼ら南蛮人とよんだので、これを南蛮貿易という。

こうしてアジアの経済交流が活発になり、極東にある日本

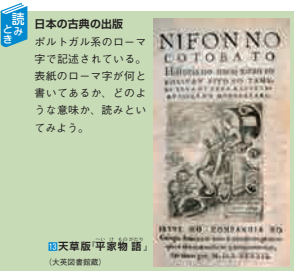
キリスト教の伝播 ザビエルは、鹿児島に來航したのち、上京したが、將軍との会見を果たすことはできず、山口に滞在後、日本を退去した。



ザビエル(神戸市立博物館蔵)



南蛮屏風 南蛮人がカピタン(船長)を中心に南蛮寺にむかう場面。寺のなかには南蛮人と日本人の姿もみえる。(部分、南蛮文化館蔵)



日本古典の出版 ポルトガル系のローマ字で記述されている。表紙のローマ字が何と書いてあるか、どのような意味か、読みとてみよう。

Topic 時代に翻弄(はんろう)された天正遣欧使節
4人の少年使節はローマ教皇に歓迎され、ヨーロッパの人びとに日本の存在を広く知らせた。活版印刷機などをたずさえて1590(天正18)年に帰国すると、禁教が強まっていた。彼らは過酷な運命が待ち受けていた。伊東マンシヨは布教活動をするが拠点の小倉を逃れ長崎で病死、千々石ミゲルは東征し消息不明、原マルチノは国外追放、中浦ジュリアンは長崎で殉教した。



伊東マンシヨの肖像(イタリア、トリヴェリオ美術館蔵)

国際的な文化の交流
宣教師らによって天文・地理や医学、パン・カステラ・たばこなど、ヨーロッパの文物がもたらされた(南蛮文化)。

イエズス会のヴァリニャーノは、キリスト教の初等教育学校(セミナリオ)や高等教育学校(コレジオ)を何か所か設け、1582(天正10)年に

は、九州のキリシタン大名にゆかりのある少年たちをヨーロッパのローマ教皇のもとへ派遣した(天正遣欧使節)。また金属製の活字による活版印刷術も導入した。以後、キリスト教の書物が翻訳されたり、日本の古典や日本語辞書が出版されたりした(キリシタン版)。

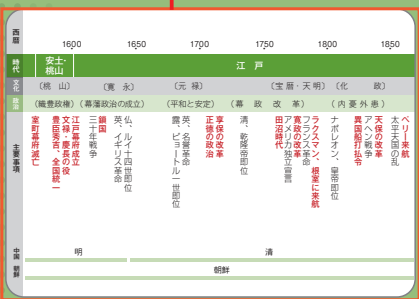
●豊臣政権が築き上げた支配の仕組みは、どのような点で江戸時代に引きつがれてゆくのだろうか。武士・百姓・町人それぞれについて考えてみよう。
●国際交流の進展や全国統一など、どのように時代に転換したのかに着目し、近世の特徴について、中世や近代とも比較して問いを表現してみよう。

本文を補足する「**注**」は、必要な部分を簡潔に記しました。

各章の最後に、学習のまとめに最適な「**章のまとめの問い**」を配置しました。

世界と関連した年表

部扉では、**世界史の動き**と関連付けながら、時代の大きな流れを捉えられる年表を掲載しました。



世界遺産：石見銀山遺跡とその文化的景観(岩手県)
16世紀に石見銀山で銀が大増産されると、中国へ大量に流れこみ、東アジアは空前の交易ブームを迎えた。16世紀末にティセラがつくった「日本図」にも石見銀山がえがかれている(上)。下は日本銀「御取納」丁銀(長さ16cm)。ともに島根県立古代出雲歴史博物館蔵

2. 興味・関心を高める工夫と、豊富な史資料

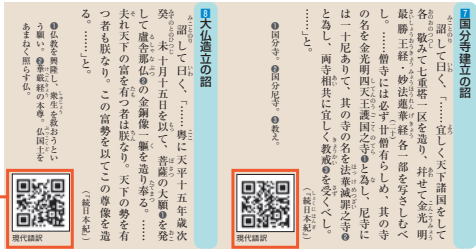
2次元コードから、**現代語訳・動画・拡大画像**が参照できます。
また、視覚的なイメージをもてる図版は、約720点掲載しました。

現代語訳

史料に付した**2次元コード**から、**現代語訳を参照**することができます。
史料に苦手意識を持つ生徒の理解を助け、自発的な学習を促します。

大仏造立の詔

(聖武天皇は)詔(みことり)の中でつぎのように述べられた。「……天平15年10月15日をもって、人びとを救済しようという仏弟子としての願いをおこして、盧舎那仏(るしゃなぶつ)の金銅像1体をつくることにした。……天下の富をもつ者は私であり、天下の勢いをもつ者も私である。この富と勢いをもって仏の尊像をつくる。……」(『続日本紀』)



「長屋親王」の文字がみえる木簡

平城京左京の長屋王部の遺跡から出土した。王家への貢納品につけられた符札。(長 8.21cm、奈良文化財研究所蔵)



木簡

木簡は細長い木札に墨で文字を記したもので、古代には、紙と使いわけて、文書や調書の荷札など、さまざまな用途でもちいられた。その時に書かれた同時代史料であり、木簡の内容から新しい史実が確かめられることも多い。平城京跡の長屋王家木簡からは、王家の生活や家政運営、室内で働く人びとの実態などが、明らかになった。

●太上天皇は譲位した天皇の称。略して上皇ともいう。奈良時代には、譲位後の太上天皇も天皇在位時と同じような権力や権威をもった。

新しい土地政策

自然災害や天候不順に影響されて飢饉もおこりやすく、律令にもとづく支配は、社会の動揺を招いた。農民のなかには、重い負担をのがれるために浮浪や逃亡

Topic

光仁・桓武天皇と皇統の交代
天智天皇の孫白河王は桓武天皇の死後、光仁天皇が立された。皇后には井上内親王(聖武天皇皇女)。光仁は皇子桓武親王が立ったが、のち廃された。桓武も皇子桓武親王が立ったが、のち廃された。桓武も皇子桓武親王が立ったが、のち廃された。桓武も皇子桓武親王が立ったが、のち廃された。

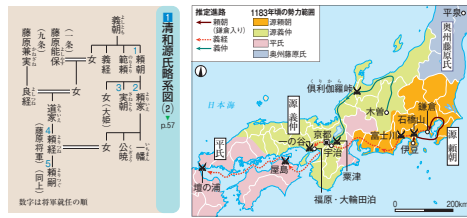
する者も多くなった。また、人口が増加すると口不足し、それに対応して安定した税を確保するために府は土地の制度を見直すことになった。

政府は耕地をふやそうとして、722(養老6)年、のもとで百万町歩の開墾計画をたてたが成果はあつた。翌723(養老7)年には、**三世一身法**を出した。この新しく灌漑施設をつくって田を開墾した者には人・子・孫にわたる私有を認め、すでにある灌漑利用した開墾地は本人に限り私有を認めるというも限つきで土地の私有を認めて開墾を奨励したの

さらに743(天平15)年に**墾田永年私財法**を出し、開墾できる面積を定めて、開墾した土地の所有にいたった。この法は、未開墾地を開墾した墾田にまで政府の支配がおよぶようにする積極策であったが、荘園という大土地所有が広がる原因ともなった。●墾田永年私財法が出ると、力のある中央貴族や寺院などは、きそって山野の開墾に乗り出した。これを**初期荘園**とよぶ。初期荘園はのちの荘園とは異なり、律令国家の力を背景とし、国司・郡司の地方統治のしくみを利用してつくられたもので、郡司の力が弱まると衰えていった。

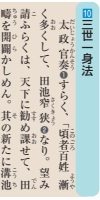


「墾田永年私財法」の詔



72 第6章 武家政権の成立

●荘園(荘)とは、開墾した土地にたてた別宅や倉庫など、まわりの墾田とを合わせたものをいう。



「墾田永年私財法」の詔

Topic

生徒の興味をひきだすため、本文では取り上げなかった人物や事件などのエピソードを紹介する**75点の「Topic」**を設けました。
(「正倉院宝物の国際性」「お茶の効用を認めた源実朝」「漂流民の国際交流」「ペリーのプレゼント」など)

第6章

武家政権の成立

12世紀末の争乱のなか、源頼朝は武士の力を集めて、最初の本格的な武家政権である鎌倉幕府を打ちたてた。幕府は全国的な政権に成長していくが、武家政権の成立・成長によって、政治や社会における武士の地位や立場はどのように変化したのだろうか。

1 鎌倉幕府の成立と展開

源平の争乱

1180(治承4)年、後白河法皇の皇子以仁王と畿内に基盤をもつ源氏(源氏)の源頼朝は平氏打倒の兵をあげ、挙兵をよびかける以仁王の命令が諸国の武士に伝えられた。この挙兵は失敗に終わったが、これをきっかけに、伊豆の源頼朝、木曾の源義仲ら各地の武士団が蜂起し、5年におよぶ源平の争乱が始まった。

平氏は、平清盛の死に続いて西国一帯に広がった大飢饉で打撃をうけ、1183(寿永2)年、義仲の軍に敗北して西国へ逃れた。後白河法皇とむすんだ源頼朝は、この法皇から東海道・東山道の東国支配権を手に入れたと、弟の義経らを都へむかわせて義仲を討った。ついで義経らは平氏と戦い、摂津の一の谷、讃岐の屋島の合戦をへて、1185(文治元年)年、長門の壇の浦で平氏をほぼばした。

平氏の滅亡後、後白河法皇は義経に頼朝追討の命令をくだしたが失敗した。この機会をとらえて頼朝は法皇にせまって、逆に義経追

読みとき

史資料をもとに、解釈したり、説明したり、**発展的な問い**として「読みとき」を設けました。
(解答例は、『教師用指導書「授業実践編」』・準拠ノートで扱っています)



鎌倉幕府の成立と展開



「鎌倉幕府初期の機構」

討の命令を得た。さらに頼朝は、義経をかくまっていた奥州藤原氏をほぼばそうと、朝廷に追討の命令をくだすよう要求した。しかし、法皇がこれに応じなかったため、1189(文治5)年、頼朝は朝廷の命令を待たずに、みずから大軍をひきいて奥州藤原氏をほぼばした。ここに頼朝は全国を平定し、後白河法皇没後の1192(建久3)年に、**征夷大将軍**に任じられた。

源頼朝は、東国に武家政権を打ちたてたため頼朝の鎌倉に本拠地をかまえ、平氏と戦いながら、**侍所・公文所**(のち**政所**と改称)・**問注所**など、支配のしくみをととのえていった。●1185(文治元年)年に平氏が滅亡した後は、逃亡中の義経をさがし出すことを口実に、朝廷から諸国に**守護・地頭**を任命する権限を得た。この守護・地頭は、幕府が地方支配をすすめるうえで大きな役割を果たした。

守護は国ごとにおかれたが、その職務は京都大番役を御家人に一つとめさせること(大番番役)と謀叛人・殺害人の逮捕で、これを大

1 鎌倉幕府の成立と展開

動画・拡大画像

本文の内容に関連する**動画**や、**細部を確認するための拡大画像**などを参照できる2次元コードで、生徒の興味・関心を高めます。

Q(問い)

本文を読む際の着眼点となる「Q(問い)」を設けました。学習の要点を捉えやすくするとともに、考察を促します。
(解答例は、『教師用指導書「授業実践編」』で扱っています)

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

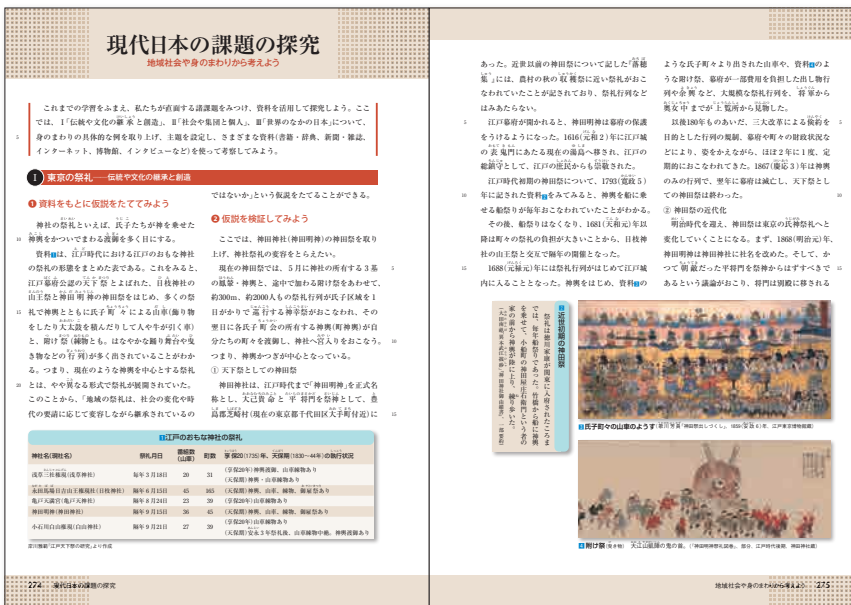
様々な史資料で、時代の特色を考察

「歴史資料と原始・古代の展望」「歴史資料と中世の展望」「歴史資料と近世の展望」「歴史資料と近代・現代の展望」では、生徒が様々な**史資料**から情報を読み取り、**時代の特色**について考察することで、その後の学習に**見通しをもった授業**を展開できます。



現代日本の課題の探究

日本史探究のまとめでおこなう「現代日本の課題の探究」の例として、生徒にとって**身近な例を主題に取り上げ**、「伝統や文化の継承と創造」などの課題を扱います。



様々な観点を提供する特集ページ

生徒の興味や関心を引きだす**特集ページ**を設け、主体的に学習に取り組めるよう工夫しています。



改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

教師用指導書 授業実践編

授業のねらいや学習の目標など、指導の指針となる情報が盛り込まれています。

解説日本史

教師用指導書 授業実践編 付属データ集DVD-ROM付

仕様：B5判・2色刷・388ページ

定価：22,000円(税込)

内容：①視点・留意点 ②学習の目標 ③解説・史料・図版 ④問いの解答例 ⑤発問例・解答例 ⑥板書例
⑦教科書画像 など

高校日本史

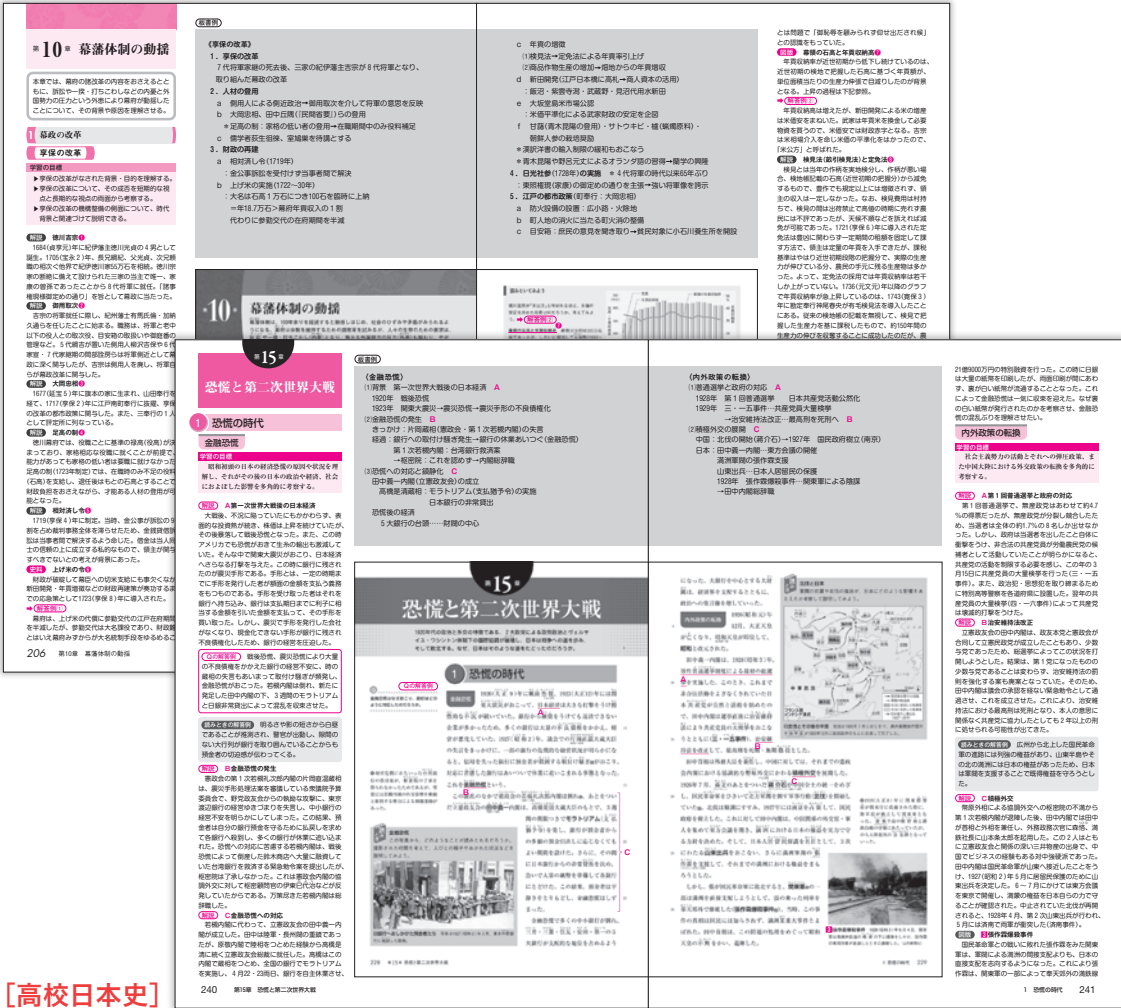
教師用指導書 授業実践編 付属データ集DVD-ROM付

仕様：B5判・2色刷・292ページ

定価：22,000円(税込)

内容：①学習の目標 ②解説・史料・図版 ③問いの解答例 ④板書例 ⑤教科書画像 ⑥ねらい など

〔解説日本史〕



〔高校日本史〕

教師用指導書 授業実践編 付属データ集

授業準備や作問などに便利なデジタルコンテンツが豊富に収録されています。指導書とともにDVDで納品しますが、クラウドからの配信もご用意しています。

〔付属データ集DVD-ROM 収録コンテンツ一覧〕

教科書データ	①教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
	②教科書本文・注・史料テキスト	Word	本文・注・史料のテキストデータ
	③教科書掲載地図・図表	JPEG	カラー・モノクロ2種の画像データ
	④教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	問いと解答例の一覧
	⑤指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
	⑥年間指導計画・評価規準例	Excel	カリキュラムにあわせて加工が可能
教科書準拠教材	⑦授業用スライド	PowerPoint	教科書の章ごとに構成 問いの解答例も収録
	⑧授業用スライド対応ワークシート	Word	スライドに対応したワークシート
	⑨準拠テスト例	Word	小問ごとに観点別評価を明記 テストに対応したルブリック(評価規準表)例付き
	⑩準拠ノート	PDF Word	『解説日本史授業用整理ノート』の紙面データ
	⑪白地図集	JPEG	プリント用・黒板用2種の画像データ

日本史探究共通

教師用指導書 研究編

B5判・1色刷・480ページ 定価：5,500円(税込)

山川出版社の日本史探究教科書で共通してご使用いただけます。教科書の構成に沿って、教科書に記述されている歴史事象やその背景、史料・図版の見方などについて、詳しく解説します。

